

令和6年度 学校関係者評価シート(中間評価)

令和6年 10 月 25 日
広島城北中・高等学校

評価項目	評価	理由・意見
目標, 指標, 計画等の設定の適切さ	B B A B	・教育目標に沿った指標となっている。 ・しっかり分析(方策まで)している。 ・高い目標に向けてよく取り組んでいる。 ・生徒がより主体的にかかわるような仕掛け、仕組みをより取り入れるとよいのではないか。
計画の進捗状況の評価の適切さ	B B B B	・適切に評価されている。 ・数値以外の満足度や評価分析についてはもう少し詳細を聞きたい。 ・生徒へのアンケートも大事ではあるが、より客観的に評価できる形にすると、なおよいのではないか。
目標達成に向けた取組の適切さ	B B B B	・生徒の現状をみた適切な取り組みである。 ・目標達成に向けて、より具体的な姿が見えると城北らしさを感じられる。 ・海外プログラム、ホストファミリー受入れを増やすことに力を注ぐべき。これまでの受け入れ家族の声も紹介するとよいのではないか。
評価結果の分析の適切さ	B B B B	・生徒アンケートの回収率は高くすべきである。 ・実績値のないままの評価についてももう少し知りたい。 ・授業評価アンケートのタイミングや対象生徒については検討する余地があるように思う。
今後の改善方策の適切さ	B B B B	・達成目標にもよるが、保護者へのアンケートも検討してみてもどうか。 ・授業改善の仕方をより具体的に知りたい。
総合評価	B B B B	・全体的に適切な評価がされている。

A:とても適切である／B:概ね適切である／C:あまり適切でない／D:まったく適切でない／N:判定できない

学校関係者評価委員会（質問、意見等まとめ）

- 登下校中のマナー違反等を校外の方から指摘されているが、前年度と比べてその件数が増えているのか減っているのかを評価指標にいれてはどうか？それによって今年度の取組みがどうだったかという振り返り（評価）にもつながるのではないかな。
- 朝、城北の坂道の下で登校指導をしていると、よく挨拶をしてくれるようになった。地域の方々からも、気持ちの良い挨拶をしてくれる生徒が増えたと言われる。
- 「城北スピリット」とはどのようなものなのか、をもっと具体的に示したほうが評価しやすいのではないかな。「城北スピリット」とは何かと生徒に聞いたら答えられるのか、というのも1つの指標になる。挨拶のこともそうだが、具体的にどういう姿になってほしいのかというものが明確になっていれば、生徒にも伝わりやすい。数値の目標だけではなく、言葉を使って目標を浸透させるのも1つの手ではないかな。そうするともっと城北をアピールできる。
- 国際交流で「受入れプログラム」のホストファミリーが減っているが、もっとアピールをして受入れてくれるホストファミリーを募ってもらいたい。受け入れたことで得られる「学び」があるということをPTAの方でも連携、協力して発信していきたい。派遣プログラムに関しては、語学ももちろんではあるが人間性を高めるのが大きな目的であると認識している。そういった意味ではアメリカ、イギリスといったところだけでなくアジアでもよいのではないかな。外から見ると日本がどのようなものかを知るいい機会になると思う。
- 受入れプログラムのハードルを下げることも必要である。保護者は受け入れる際に最高のおもてなしをしようと考えているが、そこまでのことはしなくてもいい、ということを事前に保護者に知らせることも必要である。